企画部長 説明要旨

企画部長の 北村 でございます。

最初に、組織改正についてですが、本年度より、スポーツ課にワールドマスターズゲームズ推進室を設置しました。

関西での広域開催となる「ワールドマスターズゲームズ2027(にせんにじゅうなな)関西」に向けて体制を整備し、競技運営等の準備に取り組んでまいります。

それでは、議案等の説明に先立ちまして、企画部における主な施策等について御説明いたします。

まず、新総合計画につきましては、本年の県議会9月定例会への議案提出をめざしておりましたが、岸本前知事の突然のご逝去により、作業を一時休止していたため、スケジュールを後ろ倒しにせざるを得ない状況でございます。現在、宮崎知事のもと、県議会12月定例会への議案提出をめざして、基本的にはこれまでの議論を継承する形で作業を再開しているところです。

次に、文化振興につきましては、「きのくに文化月間」を引き続き実施し、本県の文化芸術の継承及び持続的な発展に向けて取り組んでまいります。

次に、国際交流につきましては、メキシコやシアトルの在外和歌山県人会の周年事業に参加し、県人会との関係強化を図るとともに、将来の県人会活動を担う若手県人会員を招聘し、県人会活動への意欲を高めてもらう機会の創出に取り組んでまいります。

さらに、本年、友好提携30周年を迎える米国フロリダ州を訪問し、記念式典に出席するとともに、文化交流団を派遣し、同州との末長い交

流の継続を図ってまいります。また、中国・山東省、四川省、スペイン・ガリシア州との青少年交流団の派遣・受入を通じて、県内青少年の国際交流の機会を創出してまいります。

次に、統計調査につきましては、本年10月1日が調査期日である「令和7年国勢調査」を実施するとともに、次世代を担う子どもたちを対象とした統計出前授業の実施等、統計リテラシーの向上に取り組んでまいります。

次に、スポーツの競技力向上につきましては、滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会に、より多くの種別・種目で出場できるよう、県スポーツ協会や競技団体と連携し、取り組んでまいります。

さらに、障害者スポーツの振興ですが、県障害者スポーツ大会などとおして、誰もが親しむことができるスポーツの振興を図ってまいりますとともに、本年11月に日本で初めて開催される東京2025（ニーゼロニーゴ）デフリンピックの周知活動に努めてまいります。

続きまして、今議会に提出しております企画部関係の議案について、御説明いたします。

<予算関係>

まず、補正予算につきましては、補正予算説明書「出」の1ページをご覧ください。

第2款「総務費」第7項「統計調査費」第2目「統計調査費」の、調査統計課の「1 令和7年国勢調査」で、3,263万8千円の増額をお願いしております。

これは、国勢調査実施に係る国からの委託金の額が増加したことに伴い、調査を行う市町村への交付金を増額するものでございます。

次に、補正予算説明書「出」の5ページをご覧ください。

第10款「教育費」第1項「教育総務費」第7目「私立学校費」の、文化学術課の「1 私立学校振興」で、1億9,574万6千円の増額を

お願いしております。

これは、就学支援金等で所得制限を受けている世帯の生徒に対し、臨時支援金を支給するための増額でございます。

<繰越関係>

続きまして、繰越使用報告書の2ページをご覧ください。

第2款「総務費」第1項「総務管理費」の「県民文化会館機器整備」で4,428万1千円を繰り越しております。

これは、県民文化会館の大規模改修に向けた基本設計料等について、入札の複数回の不調により、契約時期が遅れ、昨年度中の執行が困難となったためでございます。

<法人の経営状況報告>

最後に、法人の経営状況報告書でございますが、地方自治法第221条第3項に定める法人の経営状況を説明する書類として、企画部関係では、和歌山県土地開発公社の経営状況報告書を提出しております。

私からの説明は以上でございます。

御審議の程、よろしくお願いいたします。